

平成30年度(29年度実績) 総合評価書 <施設名 笠原児童館・地域子育て支援拠点親子ひろば>

1	指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2	指定期間	平成27年4月1日 ～ 平成32年3月31日
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている。	-	
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※今回は指定管理3年目の評価のため、上記(2)を適用し、27年度と28年度の平均利用人数で29年度の利用人数を割ることで平均値比を求める。 102%≒利用人数(延べ人数13,719人)÷13,438人 【笠原児童館】 95%≒利用人数(延べ人数8,882人)÷9,325人 【親子ひろば】 118%≒利用人数(延べ人数4,837人)÷4,113人	105%未満～95%4点	【笠原児童館】 地域まつりへの参加や近隣施設への訪問、小学校でのおたより配布時の放送紹介依頼等を積極的に行うことで児童館の認知度はあがっている。また、調理室事業を多角化し地域との共催を多くすることで、子どもだけでなく乳幼児親子など母親の来館も増えている。しかし、校区が広いため小中学生の多くは車の送迎がないと来館が難しいことや、特に高学年は、ドッチボールなど身体を動かす遊びを好むが施設の構造上難しいことなどにより、小中学生の来館者数は伸び悩んでいる。 【親子ひろば】 初めて試みた地域性を意識した『木育の玩具作り』や『陶育』2回を実施した事や特にタイルや木材を使用したプレゼント作り等、高評価で満足頂けた事が継続的利用者の増加につながった。継続的な来館から、仲間意識が広がり第二子の出産後の利用や、参加困難な父親事業に繋がっている。 【29年度】 ＜笠原児童館＞ 来館者数 8,882人 乳幼児:3,535人 小学生:1,516人 中高生:122人 大人:3,709人 ＜親子ひろば＞ 来館者数 4,837人 乳幼児:2,418人 大人:2,419人 【28年度】 ＜笠原児童館＞ 来館者数 9,317人 乳幼児:3,640人 小学生:2,140人 中高生:157人 大人:3,380人 ＜親子ひろば＞ 来館者数 4,173人 乳幼児:2,079人 大人:2,094人 【27年度】 ＜笠原児童館＞ 来館者数 9,333人 乳幼児:3,585人 小学生:2,089人 中高生:189人 大人:3,470人 ＜親子ひろば＞ 来館者数 4,053人 乳幼児:1,955人 大人:2,098人	8点	

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況(40点)	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	<児童館> ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計45回開催、延べ826名参加) ・児童を対象とした事業(計65回開催、延べ540名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計31回開催、延べ1958名参加) ・中高生事業(計7回開催、延べ21名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計27回開催、延べ417名参加) <親子ひろば> ・親子の交流の場の提供と促進(計230回開催、延べ2795名参加) ・子育て等の相談・援助の実施(計104回開催、延べ607名参加) ・地域子育て関連の情報の提供(計52回開催、延べ730名参加) ・子育て・子育て支援に関する講習等(計42回開催、延べ483名参加) ※別紙:事業評価表 参照		仕様書以上 13点	・仕様書の事業をすべて目標目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域と連携を図り、事業を行っている。 <笠原児童館> ・小学生児童の来館者数が伸び悩んでいることを受け、クラブの見直しをしながら魅力的な内容になるよう工夫して行ってきた。その結果、参加する児童の数が他地域からの参加も含め増えてきた。 ・調理室のある環境を活かした地域との共催調理事業に力を入れ、それを通して多世代の交流が深められるようにした。乳幼児親子から小学生、お年寄りに至るまでの参加者数が増え、互いに親睦を深め合うことができた。 <親子ひろば> ・利用者のニーズを吸い上げつつ、地域を意識した子育て関連の事業を積極的に行った。	13点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	<児童館> ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計23回開催、延べ284名参加) ・児童を対象とした事業(計37回開催、延べ282名参加) ・地域交流、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計51回開催、延べ702名参加) ・中高生対象事業(計18回開催、延べ30名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計0回開催、延べ0名参加) <親子ひろば> 自主的な事業(計69回開催、延べ1250名参加) ※別紙:事業報告書 参照		例年通り 11点	・地域の特性を活かした事業を適正に実施した。 <笠原児童館> ・親子ひろばが併設されている利点を生かし、職員間での連携を深め共催事業や乳幼児親子対象の事業など子育て支援に力を入れた。内容にも工夫して取り組んだ結果、参加者の増加に繋がった。 ・児童館の調理のできる環境を活かした伝統的なおやつ作りの事業の他に地域の方から学ぶしめ縄作り、地域の多世代の方々が親睦を深め合う場となるフェスティバルやお楽しみ会等を設けた。又悠遊塾への参加等地域との繋がりを大切にし積極的に地域の行事へ出かける事業も行った。ひろばや母親クラブ、他館との共催にも力を入れ、より良い内容が提供できるよう工夫しながら事業を行ってきた。 <親子ひろば> ・地域のお祭り等(祖父母を対象とした)、児童館との共催事業を行った事が、地域と乳幼児親子との交流に繋がった。 ・利用者の気持ちに寄り添っているからこそ利用者の声に傾聴し魅力的な自主事業を積極的に行った。結果、継続利用者に繋がった。職員と利用者・利用者同士の交流が進んだことで父親同士の交流にも繋がっていった。	11点
2	施設管理状況(25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:月1～2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2～3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	仕様書に定める回数が適正に実施されている。	10点	
			②保守・点検			運動遊具の保守点検及び自動ドアは委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。		
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④小規模修繕			水道管、給湯管等の凍結による漏水修繕工事(93,960円) 10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。		
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月の定期点検により、危険箇所の有無について確認。 ・ヒヤリハットの事例をその度毎に用紙に記録して残し、団会議ではそれについての話し合いの場を設けている。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。		

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
2	施設管理状況(25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点	
			②環境への配慮			・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつけ、使用していない電化製品のプラグは抜き、スイッチをこまめに確認するようにしている。夏は冷房の設定温度を28度に設定、プール遊びで残った水を打ち水にし、暑さ対策にする高窓を開け風通しを良くする他ゴーヤ等の植物によるグリーンカーテンを作った。冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用 関係者機関への連絡はメールを利用。又祭のブースや工作ランドなどの工作事業では、ペットボトルやガチャガチャのケース、ラップの芯といった廃材や古新聞などを活用している。 ・「段ボールコンポストの利用」 段ボールコンポストを利用し、野菜を育てている。 ・「ゴミの分別」 クラブや地域共催の調理事業時などでは、ゴミの分別を呼びかけ残采が残らないように声をかけている。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。 ・段ボールコンポストを利用し、野菜を育て、収穫し、調理し、そのゴミで野菜を育てるという「食の循環」を事業で実施している点は評価できる。		
			③バリアフリー			玄関に車椅子用のスロープを設置しトイレには手すりがあるが、これがどのような意味を持つかを子ども達に話し意識を高めるようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		
			⑤個人情報保護			特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	特に無し	事故なし・対応に不備なし 0点	・掲示等により利用者に注意喚起を行い、子どもの見守り等保護者に向けての注意喚起を徹底する。		
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入 13,981,157円÷支出 13,572,600≒103% 【笠原児童館】 収入 10,924,647円÷支出 10,312,493≒106% 【親子ひろば】 収入 3,056,510÷支出 3,260,107≒94%	105%未満～100% 4点		4点		

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	<児童館> ・窓口に意見箱を設置するとともに、前期・後期のクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを行いその後の事業内容に活かすようにしている。又、直接利用者の方々より感想・意見を聞く場を設けている。 <親子ひろば> ・少子化のためか公園や公共施設へ出かけても、なかなか子どもがいないという利用者の声に応え、「わくわくパーク」【出前ひろば】を積極的に実施。異年齢の親子が交流できる場として参加者に高好評である。 ・父親の休日(日曜日)にパパズホリディを開催し、複数の家族ぐるみの交流ができて、子ども達にとっても影響力があり、日曜日が父親が仕事の母子に対しても参加できる様にした。	期待以上 8点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・親子ひろば利用者の要望に応えるため、本来休所日である日曜日に事業を行った企業努力は評価できる。	8点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情なし・適正(普通) 4点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の有資格臨時登録者を完備し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『子ども・放課後等ディプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。(29年度…5/14静岡県・12/3静岡県・2/18東京駒澤大学・2/25静岡県) また10/1「東海協同集会(名古屋市立大学)」・10/7～8「全国協同集会(龍谷大学)」・2/25～26「ワーカーズコープよい仕事集会(東京秋葉原)」においての子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計10回開催。 ・下記の研修会に参加し、伝達研修を行った。 5/19健全育成専門セミナー(主催:児童健全育成推進財団)10/24～27児童厚生員等基礎研修会(主催:児童健全育成推進財団) 9/26館長研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会)・10/5東濃ブロック児童厚生員研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会)・11/20東濃地区児童館職員等研修会(主催:岐阜県児童館連絡協議会) 5/26多治見市児童厚生員研修会(主催:多治見市社協) 4/17ぎふ木育指導者研修(主催:岐阜県恵みの森づくり推進課) 9/7地域子育て支援拠点研修(主催:厚労省) 5/29普通救命救急講習(笠原消防署)	期待以上 14点	・地域行事へ職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努める姿が見られた。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。		遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下					82点
								全体的な評価 ・概ね良好な管理がなされている。 ・児童館と親子ひろばが併設されている利点を活用しており、地域との連携も評価できる。		良好